

2023年1月16日

## 同志社ことばの会 2022年度年次大会のご案内

同志社ことばの会  
会長 山内信幸

新春の候、会員の皆様にはご清祥のことと存じます。下記のとおり、2022年度の同志社ことばの会の総会と年次大会を開催いたしますので、万障お繰り合わせの上ご出席ください。

日時：2023年2月19日（日）10：30～17：20  
会場：同志社大学今出川キャンパス寒梅館 6F 大会議室

### プログラム

開会のことば 10時30分

研究発表（午前） 10時40分～12時40分

学部生の部：各発表20分（発表15分＋質疑応答5分）

- ① 日常生活におけるジェンダーフリーな一人称の検討  
森 怜奈（同志社大学[学部：文化情報]）
- ② 若者ことばの使用実態と言語意識の関連性について  
北岸梓（同志社大学[学部：文化情報]）

休憩（5分）

大学院生の部：各発表25分（質疑応答の時間を含む最大時間）

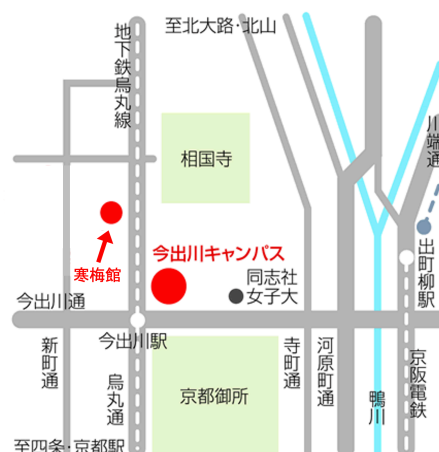
- ③ 「itの特別用法」に関する考察—語り手の存在に着目して—  
山本 茉莉（同志社大学[院：文化情報]）
- ④ 擬音語におけるネーミングに関する一考察 —日本語母語話者と中上級日本語学習者における表現の分析を通じて—  
佐古 恵里香（同志社大学[院：文化情報]）
- ⑤ 魯迅の翻訳本の比較分析—『狂人日記』におけるリーダービリティの観点から—  
王 子涵（同志社大学[院：文化情報]）

昼食休憩

研究発表（午後） 13時40分～15時25分

一般の部：各発表25分（質疑応答の時間を含む最大時間）

- ⑥ 中学校検定教科書と多読図書の語彙レベル比較—付随的語彙習得に与える可能性を中心に—  
藤井数馬（長岡技術科学大学）



- ⑦ 談話結合子による論理展開のパターンについて  
長谷部陽一郎（同志社大学）

休憩（5分）

- ⑧ Too to 構文 不定詞補文の受動態  
村瀬三千代（常滑市立南陵中学校[教諭]）  
⑨ 生成文法の持続可能性について  
赤楚治之（名古屋学院大学）

休憩（15分）

**総会 15時40分～16時00分**

- 議題 1. 2022年度決算の件  
2. 2023年度予算の件  
3. その他

**特別講演 16時00分～17時15分**

町田章先生（広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授）

演題：（間）主観性から始める言語研究—日本語認知文法からの一つの提案—

司会：長谷部陽一郎

**閉会のことば 17時15分～17時20分**

**問い合わせ**

同志社ことばの会事務局 長谷部陽一郎 (yhasebe@mail.doshisha.ac.jp)